



琵琶池の竜

夜間瀬川流域には、災害をモチーフとした民話がいくつか存在します。「琵琶池の竜」もそのひとつです。

このお話は、上流の池の主である竜が池を決壊させて、下流の村へ大災害を起こすというものです。竜から災害が起こることを聞いていた琵琶法師のおかげで、下流の村人は助かりますが、琵琶法師は竜に殺されてしまいます。

上流から流下する水や土砂は、容易に土石流を想像できます。それが民話となつて残るのは、いかに土石流災害が多かったこと、そして村人を苦しめてきたかが想像できます。

このお話に登場する、上流の池は今も琵琶池と呼ばれています。

Dragon of Biwa Pond

In the Yomase River Basin there are several folktales with motifs taken from disasters. The Dragon of Biwa Pond is one of them. The story is about a dragon, who was lord of a pond upstream, destroying its pond and causing a major disaster for the villages downstream. The villagers downstream were saved thanks to a Biwa playing Buddhist monk who had heard that the dragon intended to destroy its pond, but the Biwa playing Buddhist monk was killed by the dragon. It is easy to imagine a debris flow from water, earth, and sand flowing down from upstream. From such an event ending up in a folktale, it is easy to imagine that debris flows were frequent occurrences that caused suffering for the villagers. The upstream pond that appears in this story is still called Biwa Pond to this day.

琵琶池之龍

夜間瀬川流域流傳著多個以災害為主題的民間傳說。「琵琶池之龍」就是其中之一。這個傳說，講的是掌管上游水池的巨龍破壞了水池給下游村莊帶來了嚴重的災害，聽聞巨龍引起的災害，琵琶法師奮力相助，最後下游村莊的人們終於得救，而琵琶法師卻被巨龍殺死的故事。從上游傾瀉而下的水及土砂，可想而知就是泥石流。從流傳至今的民間傳說中可以得知，當地的泥石流災害是多麼嚴重，又給村民帶來了多大的災難。這個傳說中的上游水池，現在仍被稱為琵琶池。

<參考> 瀬川拓男・松谷みよ子：信濃の民話，未來社

土砂災害の昔話「琵琶池の竜」と「砂防」



①地獄谷駐車場	徒歩 ←12分→	②直轄第65号堰堤	徒歩 ←3分→	③地獄谷野猿公園
④上林温泉駐車場	←27分→	⑥直轄第39号堰堤		
⑤渋温泉湯めぐり パーキング	←0分→ (目の前)	⑦頌徳碑	←10分→	⑧水害決壊跡地
	←15分→			



頌徳碑 (⑦)
夜間瀬川の治水砂防事業に貢献した、当時の平塚村長と穂波村長そして赤木農学博士への感謝の意を表すため建立されました。



穂波温泉水害決壊跡地 (⑧)
昭和25年の洪水で堤防が決壊し、穂波温泉街が消失する大災害が発生しました。堤防の決壊跡地には、石碑が建てられています。



竣工当時の直轄第39号堰堤 (⑥)
大正12年から大正13年に国の直轄工事により施工。当時コンクリートが貴重であったため、材料には大きな石が用いられています。



現在の直轄第39号堰堤 (⑥)
諸元：H=5.0m, L=89.0m
着工年：大正12年9月
竣工年：大正13年7月



現在の直轄第65号堰堤 (②)
諸元：H=2.48m, L=20.0m
着工年：不明
竣工年：昭和4年4月



地獄谷野猿公園 (③)
世界で唯一、温泉に入るサル。興味深い二ホンザルの生態を、間近で観察することができます。



琵琶池
「琵琶池の竜」の舞台とされています。湖畔の白樺林を一周する約45分の散策コースは、特に秋が見頃です。

夜間瀬川の砂防事業の歴史

これまで、横湯川・角間川沿いの温泉街はしばしば激甚な土砂・洪水被害を受けてきました。長野県は明治39年(1906)から砂防事業を開始しましたが、明治42~43年の豪雨によって、温泉街は、激甚な被害を受けました。大正7年(1918)から内務省による直轄砂防工事が行われ、その後、県事業に引き継がれ、現在も地域の暮らしを見守っています。

History of Sabo Projects in the Yomase River Basin

Up to now, spa towns along the Yokoyu and Kakuma rivers have often suffered damage from severe sediment and flood disasters. Nagano Prefecture commenced sabo projects from 1906, but spa towns suffered serious damage due to heavy rains in 1909-10. From 1918, the Ministry of Home Affairs directly carried out sabo works, then Nagano Prefecture took over the work and have been watching out for regional safety ever since.

夜間瀬川のSabo工作的歴史

迄今為止，橫湯川和角間川沿岸的溫泉街，曾屢次遭受嚴重的泥石流和洪水災害。長野縣自1906年起就已開始Sabo工作，但因1909-1910年的暴雨，溫泉街還是遭受了嚴重的災害。1918年日本內務省開始親自負責實施Sabo工程，之後長野縣接手這一工作，到現在依然在守護著當地人民的生活安全。

砂防とは

「砂(土砂)を防ぐ」ことにより、みなさんの人命を守り、安全・安心を確保することが「砂防」です。

What is Sabo

Sabo is preventing sand and debris flows to protect people's lives and maintain their safety and security.

什麼是 Sabo

通過「預防泥石流(防止土砂流動)」，保護居民的人身安全，確保人們安全放心地生活，這就是「Sabo」。

砂防堰堤の機能

砂防堰堤を作ると、上流からの土砂で満砂状態となり、川の勾配が緩くなって兩岸をおさえ、崩壊を防ぐことができます。また、大雨などにより土砂が流れてきた場合、さらに多くの土砂を貯めます。

WEBでさらに詳しく知ることができます。Read more on the WEB 更多詳情請參閱網絡



■長野県 建設部砂防課 026(235)7315 ■長野県 北信建設事務所 0269(22)3111